

## 合否判定方法・試験室

採点方法と合否判定方法(ルール)を知っておくことは、受験者(プレーヤー)として、極めて重要なことです。受験者は、下記を熟知した上で、試験準備を行ってください。

(但し、下記は、通訳案内士試験ガイドライン、JNTO、観光庁、JTBの知人、友人から聞いた話をベースにして、私が推定したものですので、事実と異なる可能性もあります。予め、ご了解の上、お読みください。)

### 【1】採点票 (Evaluation Form)

通訳案内士試験ガイドラインに記載されていることを基にして「採点票」を作成すると、下記のようになります。

採点票 (Evaluation Form)			
評価項目	評価点(5点満点)	コメント	総合判定
①プレゼンテーション	点		
②コミュニケーション	点		
③文法及び語彙	点		
④発音及び発声	点		

⑤ホスピタリティー(やる気、熱意)(入室から退出までホスピタリティーの精神で!)

### 【2】採点方法(推定)

日本人試験官および外国人試験官は、4つの評価項目(5点満点)について、5段階の評価をします。

### 【3】評価点と合否判定(推定)

合否は、評価点の合計点ではなく、個々の評価項目の評価点で判定されます。

- 評価点が、3点～5点は合格、1点～2点は不合格となります。
- 4つの評価項目の中で、1項目でも1点～2点があれば、その受験者は、総合判定で不合格となります。

5点:(合格) Excellent  
4点:(合格) Very good  
3点:(合格) Good

2点:(不合格) Poor  
1点:(不合格) Very poor

### 【4】最終的な合否判定方法(推定)

- (1) 総合判定が、二人の試験官がともに「合格」の場合は、「合格」となります。
- (2) 総合判定が、二人の試験官がともに「不合格」の場合は、「不合格」となります。
- (3) 総合判定が、一人が「合格」、一人が「不合格」の場合は、「不合格」とした評価項目について、(コメントを参考にしながら)両者が協議をして、最終的な合否を決めます。

【5】試験室(らしい):「**常在戦場**」の意識を高めるために、携帯、スマホの待受画面にすること。



＜昭和女子大で受験する方へ＞

東京の試験会場である昭和女子大は、教室の音声が廊下までよく聞こえる教室があるので、当会場の受験者は、今から、周りのささやき声を聴く練習をしておくこと。事前に、通訳、プレゼンテーションの内容が分かれば、ゆっくり準備ができます。



メモ